

令和4年度事業報告書

自 令和4年(2022年)4月1日
至 令和5年(2023年)3月31日

公益財団法人 都民劇場

目 次

当法人の現況に関する事項	2
事業の状況	5
(別紙)令和4年(2022年)度定期鑑賞会公演記録	10

I. 当法人の現況に関する事項

1. 法人の概況

〈1〉 設立年月日

昭和30年（1955年）4月15日

〈2〉 定款に定める目的

この法人は、文化及び芸術の振興、古典演劇の保護、現代演劇の育成、児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業を行い、国内外の芸術芸能の発展向上に寄与することを目的とする。

〈3〉 定款に定める事業内容

- ①国内外の優秀な芸術芸能の鑑賞会の実施
- ②国内外の優秀な芸術芸能公演の実施
- ③児童又は青少年を対象とする芸術芸能公演の実施
- ④国内外の演劇・音楽等芸術についての調査並びに情報、資料の収集提供と研究会の実施
- ⑤定期刊行物の発行
- ⑥その他前号に定める事業に関連する事業

〈4〉 所管官庁に関する事項

東京都

〈5〉 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
定期鑑賞会会員	6,237人	244人増

〈6〉 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区銀座五丁目1番7号数寄屋橋ビル内

〈7〉役員等に関する事項

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理 事 (理事長)	糟谷 治男	常勤	(公社) 日本演劇興行協会理事
理 事 (専務理事)	千田 純二	常勤	(公財) 都民劇場事務局長
理 事	植木 浩	非常勤	(一社) 現代舞踊協会会長
〃	宇津木 修	非常勤	公認会計士
〃	水落 潔	非常勤	桜美林大学名誉教授 演劇評論家
〃	矢野 誠一	非常勤	演劇・演藝評論家 (公財) 早川清文学振興財団理事
〃	山分 榮	非常勤	弁護士
〃	横山 英樹	非常勤	東京都生活文化スポーツ局長
監 事	鎌田 高明	非常勤	公認会計士
〃	島田 耕一	非常勤	弁護士
評議員	浅里 公三	非常勤	音楽評論家
〃	上村 巖 (以和於)	非常勤	演劇評論家
〃	寺西 基之	非常勤	音楽評論家
〃	西崎 清久	非常勤	福山大学名誉学長
〃	野口 敦弘	非常勤	能楽師
〃	丸山 徹	非常勤	慶應義塾大学名誉教授
〃	横溝 幸子	非常勤	演劇評論家

〈8〉職員に関する事項

職 員

令和4年度末（2023年3月31日現在）の職員数は常勤職員14名。

II. 事業の状況

1. 事業の実施状況

〈1〉文化・芸術振興事業

(1) 定期鑑賞会事業の開催

- ① 演劇サークルは帝国劇場、新橋演舞場、明治座、日生劇場、シアタークリエ、国立劇場、東急シアターオーブ等の上期 29 公演、下期 31 公演、計 60 公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に 10 公演を鑑賞した。
- ② 歌舞伎サークルは歌舞伎座の上期 6 公演、下期 5 公演、計 11 公演の中から、各回毎に指定された公演の内 年に 6 公演を鑑賞した。下期第 1 回は十三代目市川團十郎白猿襲名披露興行。
- ③ 音楽サークルは無期限休止。
- ④ 新劇サークルは新国立劇場、PARCO 劇場、紀伊國屋サザンシアター、東京芸術劇場プレイハウス、世田谷パブリックシアター、紀伊國屋ホール等の上期 20 公演、下期 21 公演、計 41 公演の中から、各回毎に指定された公演の内、年に 10 公演を鑑賞した。

(2) 都民劇場古典芸能鑑賞会の開催

都民劇場古典芸能鑑賞会第 110 回

『都民劇場能』

日時＝令和 4 年（2022 年）11 月 17 日（木）午後 2 時

会場＝宝生能楽堂

狂言「萩大名」（和泉流） シテ＝石田幸雄 ほか

能「実盛」（観世流） シテ＝観世喜正 ワキ＝野口能弘 間＝野村太一郎

大鼓＝安福光雄 小鼓＝鶴澤洋太郎 笛＝一噌隆之 太鼓＝三島元太郎

入場料＝6,500 円～4,500 円 入場者数＝256 人

(3) とみん特選小劇場の開催

とみん特選小劇場第 64 回

『兼好・萬橘 二人会』

日時＝令和 5 年（2023 年）1 月 25 日（月）午後 2 時

会場＝紀伊國屋ホール

「転失気」 三遊亭けろよん

「一分茶番」 三遊亭兼好

「堪忍袋」 三遊亭萬橋
「大師の杵」 三遊亭萬橋
「二番煎じ」 三遊亭兼好
入場料=3,600円 入場者数=300人

(4) 『映画芸術劇場』の開催

後援=中央区文化・国際交流振興協会
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

(5) 『都民半額観劇会』の開催

「都民半額観劇会」第173回から第176回まで、年4回開催
主催=東京都、(公財)東京都歴史文化財団、

(公社)日本演劇興行協会、(公財)都民劇場

第173回 参加 7劇場10公演 応募枚数 43,634枚 提供枚数 8,889枚

第174回 参加 8劇場14公演 応募枚数 55,113枚 提供枚数 8,942枚

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3劇場3公演が
公演中止・払い戻しとなった。

第175回 参加 7劇場10公演 応募枚数 36,662枚 提供枚数 8,805枚

第176回 参加 8劇場13公演 応募枚数 53,454枚 提供枚数 10,144枚

※1劇場1公演が出演者体調不良のため公演中止・払い戻しとなった。

令和4年(2022年)度合計 応募枚数188,863枚 提供枚数36,780枚

(第1回からの累計 応募総数6,316,339枚 提供総数1,265,973枚)

「広報東京都」に掲載し募集。希望者は葉書で都民劇場内 都民半額観劇会事務局へ申し込む。応募多数の場合は抽選の上当選者に通知、払込用紙を郵送する。

〈2〉青少年育成事業

『子供歌舞伎教室』の開催

共催=東京都 協賛=松竹株式会社、(公社)日本俳優協会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催見送り。

〈3〉研究会事業

(1) 『能楽鑑賞講座』

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催見送り。

(2) 「四国こんびら歌舞伎」観劇研究会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。

〈4〉 主要劇場の入場券の斡旋、研究調査および定期刊行物の発行

- (1) 定期鑑賞会会員以外の人達に入場券の斡旋等の販売等を実施した。
- (2) 定期鑑賞会事業、特別公演事業の推進を図るため、アンケート調査を実施し機関紙「都民劇場」5月号、第827号に掲載した。
- (3) 定期鑑賞会会員向け機関紙「都民劇場」を第826号から第837号まで12回発行した。

2. 役員会等に関する事項（理事会、評議員会等）

〈1〉理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和4年6月13日 (2022年)	定款第38条に定めた決議の省略による方法で実施している。	
	(1) 令和3年度計算書類・事業報告承認の件	可 決
	(2) 令和3年度定期提出書類の承認の件	可 決
	(3) 理事候補者の承認	可 決
	(4) 相談役の選任	可 決
	(5) 評議員会招集及び提出議案の件（書面による開催）	可 決
令和4年7月19日 (2022年)	定款第38条に定めた決議の省略による方法で実施している。	
	(1) 代表理事（理事長）選定の件	可 決
	(2) 代表理事（専務理事）選定の件	可 決
令和5年3月17日 (2023年)	定款第38条に定めた決議の省略による方法で実施している。	
	(1) 令和5年（2023年）度事業計画書、及び、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについての承認	可 決
	(2) 令和5年度役員報酬の承認	可 決
	(3) 給与規定変更の件	可 決

〈2〉評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和4年6月30日 (2022年)	定款第20条に定めた決議の省略による方法で実施している。	
	(1) 令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	可 決
	(2) 理事の選任	可 決

3. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

区 分	令和4年度 (2022年度)	令和3年度 (2021年度)	令和2年度 (2020年度)
経常収益	598,624,961	449,269,878	231,812,562
評価損益等調整前 当期経常増減額	△70,046,636	△102,108,660	△176,857,231
当期経常増減額	△108,577,136	△95,671,160	△157,713,231
当期財産期末残高	527,329,602	629,112,668	718,216,328

4. 業務の適正を確保するための体制等

当法人では、公益財団法人への移行後の組織運営にあたり、以下の定款及び諸規程を整備し、これを役員及び従業員に説明したうえで、これに従った法人運営を行う。

1. 定款
2. 事務局規程
3. 委員会規程
4. 賛助会規程
5. 会員規程
6. 理事の職務権限規程
7. 役員等の報酬及び費用に関する規程
8. 非常勤役員等退職慰労金支給規程
9. 常勤役員退職慰労金規程
10. 寄附金等取扱規程
11. 経理規程
12. 資金運用規程
13. 情報公開規程
14. 個人情報管理規程
15. 印章取扱規程
16. 電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程